

中央大学書道會

題字 / 法学部3年 市川朱里

書道パフォーマンス



普段は一人一人で行う書道ですが、パフォーマンスになると10人程度のチームで作品を作り上げていきます。

全6チーム総勢51人の演者、そして裏方の力が結集したことで、快晴の中、パフォーマンスを成功させることができました。

こんにちは。中央大学書道會です。すっかり寒さが厳しくなってきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。今回は白門祭での書道パフォーマンスと中大書展の作品をご紹介します。各チームの個性豊かな演技と趣向を凝らした作品をご覧ください。



中大書展



白門祭期間中、11月1日から4日にかけて、図書館下ギャラリーにて中大書展が開催されました。計32作品が揃い踏みし、個性豊かで見どころ満載の書展となりました。また多くの方々が書展に足を運んでくださり、大盛況に終わることができました。今回の書展の中から3点の作品を掲載しております。ぜひご覧ください。



◎創「[彩]三種」 文学部3年 鈴木由佳

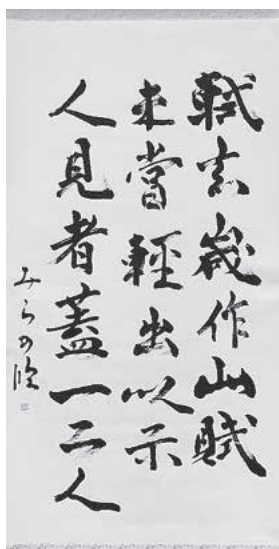
墨とあまりコラボしたことの無い素材を背景に使ってみました。字体も背景の雰囲気に合わせて変えて書きました。



◎創「二十億光年の孤独」 文学部1年 笠原昌人

初陣ながら、近代詩文書に取り組み、「年」の最後の画を木簡調に書いてみました。

谷川俊太郎の世界観を表せるよう配字にも工夫しました。



◎臨「前赤壁賦」 法学部1年 宮みらの

ありのままの自分を最大限に表現する方が正統な完璧さを目指すよりよっぽど大事だと実感したこの頃、己の不器用さを受け入れ一生懸命書くことに努めました。